

議題 (1)

## 幹事会の報告について

令和2年度 取組実施状況フォローアップ (概要)



- 烏・神流川流域の減災に係る取組41項目の各機関における実施状況は、一部完了していない取組があるものの、多くの取組が着実に進められている。
- 令和2年度時点で、排水ポンプ車等の災害対策用車両の配備や庁舎等の災害対策の充実について取組が完了した機関もあり、着実に取組が進められている。しかし、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成・訓練実施や広域避難計画の策定、防災教育関連取組など完了に至らない取組があり、特に「**避難**」「**教育**」分野の取組継続・強化が必要

## 課題解決に向けた取組項目 (H28年度～R2年度)

課題	取組項目					
	連携	ハード	避難	教育	水防	排水
①情報伝達・避難計画等に関する事項	○	●	●	●	●	
②水防に関する事項	○	●	●		●	
③氾濫水の排水、施設運用等に関する事項	○	●				●
④河川管理施設の整備に関する事項	○	●				

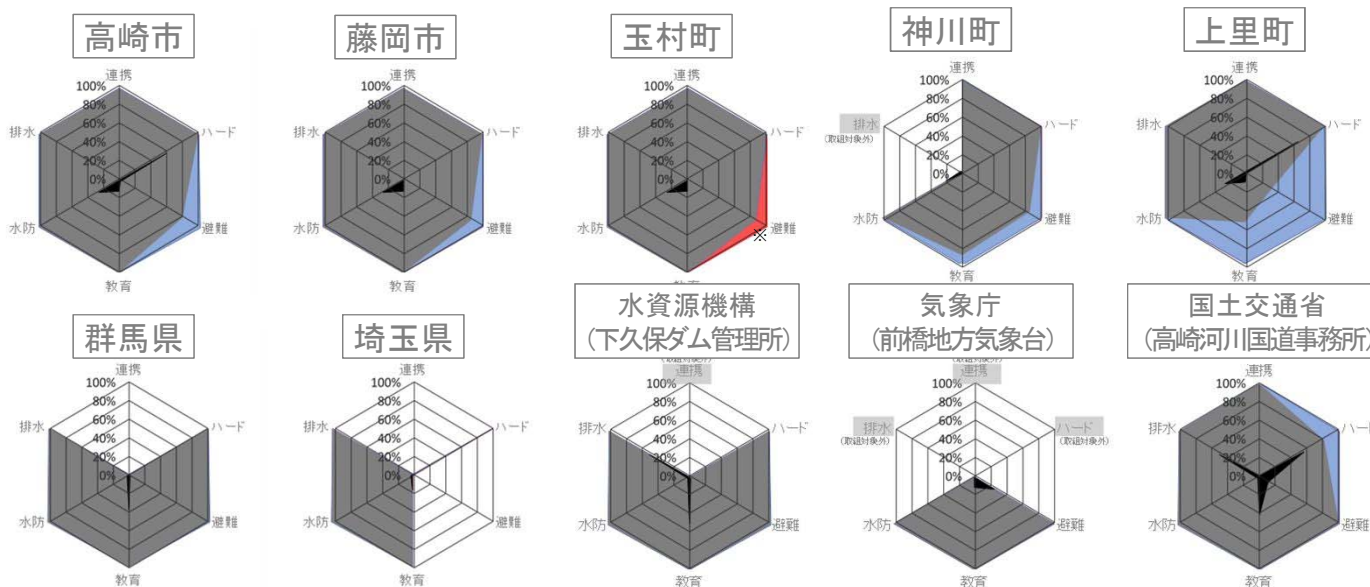
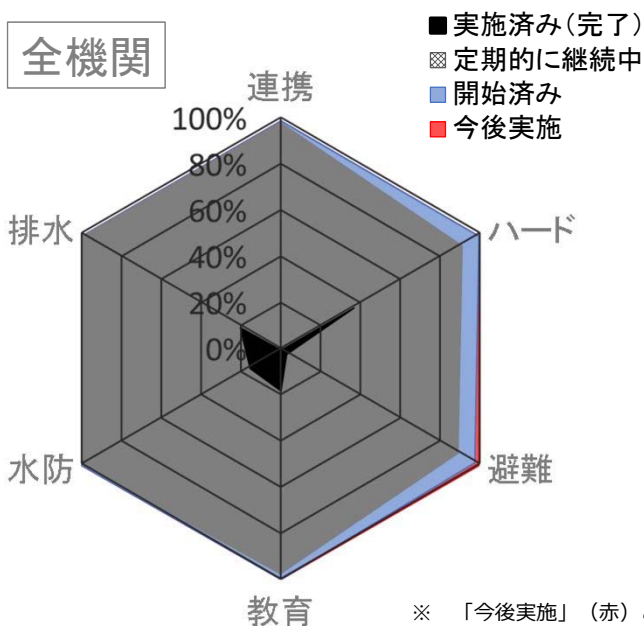
- 連携：関係機関の連携体制強化の取組
- ハード：ハード対策の主な取組
- 避難：情報伝達、避難計画等に関する取組
- 教育：平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
- 水防：洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
- 排水：一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とする排水活動及び施設運用強化の取組

● 課題解決のために位置付けられた取組。○：明確に位置付けられていないもの、課題解決に寄与する取組。

## 取組実施状況 (令和2年度末時点)

全取組個数を100%としたときの比率を示す。(単位：%)

### 全機関



※ 「今後実施」(赤)となっているのは、⑤広域避難計画の策定(玉村町)である。玉村町では、近隣の自治体との広域避難に関する協議を令和3年度に実施予定である。

### 3. (1) 幹事会の報告 令和2年度の実施状況 (取組事例紹介1)

第7回協議会  
資料1-1

#### ● 情報伝達、避難計画等に関する取組

##### 藤岡市の取組

情報伝達・収集システム「防災ふじおかVoice」を運用開始  
(令和2年10月～)

##### 【概要】

音声ガイダンスの一斉送信による情報伝達システムで、パソコンに入力した文言を音声ガイダンスに変換し、あらかじめ登録してある電話番号へ一斉送信するシステム。不在時は自動でリダイヤルし、応答の可否もシステム上で見ることができ、情報の見逃しを大幅に減らすことができる。

自主防災組織会長・役員、民生委員児童委員、土砂災害危険区域または浸水想定区域に居住しており、携帯電話またはインターネット環境がない方を想定。

##### 神川町の取組 (防災行政無線の情報を受信できる戸別受信機の配布)

神川町では情報伝達手段の一つとして防災行政無線を整備  
令和2年度に防災行政無線のデジタル化を行い、新たに戸別受信機を希望者へ配布 (今後配布促進を図る予定)



戸別受信機



文字表示機能

##### タイムラインの実行性確認に向けた訓練

(令和2年11月4日実施、会場はGメッセ群馬)

参加機関:

(プレーヤ)高崎市、藤岡市、玉村町、神川町、  
上里町、高崎河川国道事務所  
(ワザ-バ-)群馬県、埼玉県、前橋地方气象台、  
水資源機構、上信電鉄(株)、  
東日本旅客鉄道株式会社



タイムラインの実行性  
確認に向けた訓練

#### ● 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

##### 上里町の取組 (中学校での水災害教育)

テーマ:「水害防災の観点から私たちの町の特色と課題をつかみ、防災を中心に町と私たちの在り方を考えよう」

目的:自分たちの住む町の状況を知ること。  
起こり得る災害の状況や人口・高齢者分布状況などによる避難所や交通網などの問題点等をグループごとに検討・発表。(中学2年生対象)



中学校でのグループ  
検討の様子

##### 高崎河川国道事務所の取組 (小学校での講習会)

新町第一小の要請を受け、小学5年生を対象に総合学習の一環とした『逃げキッド』を使ったマイ・タイムラインの作成や降雨体験車による台風の大雨体験を実施。



小学校での講習会の様子

##### マイ・タイムライン講習会 (令和2年度実施分)

10/7 マイ・タイムライン作成を含む防災講習会 (高崎河川国道事務所)

11/7 マイ・タイムライン講習会 (藤岡市)

11/13 下里見北村区マイタイムライン講習会 (県主催) (高崎市)

##### 気象庁の取組

- 「洪水警報の危険度分布」に洪水浸水想定区域及び土砂災害警戒区域等のリスク情報を重ね合わせて表示。  
令和2年7月9日、都道府県管理河川の浸水想定区域を追加
- 「洪水警報の危険度分布」に洪水予報河川の増水に起因する内水氾濫 (湛水型の内水氾濫) の危険度を表示。(令和2年5月28日に公開実施)





- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等のハード対策の主な取組

## 玉村町の取組

川井地内に、会議室と水防資機材の備蓄倉庫を備えた玉村町水防センターを開所。(令和2年6月)



玉村町水防センター

## 高崎市の取組

従前の排水ポンプ車1台に加え、新たに2台配備(排水能力は1分間に最大30m³)



排水ポンプ車

## 高崎河川国道事務所の取組

確実な操作と維持管理コスト縮減のため、樋管ゲートに操作不要なフラップゲートを導入(R2年度:薬師堂樋管)



岩鼻樋管  
フラップゲート化

## 上里町の取組

災害活動拠点となる上里町役場庁舎の非常用電源装置(自家発電72時間以上)対応工事を完了(令和2年度)

- 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

## 洪水に対しリスクの高い区間(重要水防箇所等)の「共同点検」

烏川左岸川井地先付近にて実施した。(令和2年7月16日実施)  
参加機関:玉村町、群馬県、気象庁前橋地方気象台、関東地方整備局高崎河川国道事務所、このほか報道機関の参加あり



- 排水活動及び施設運用の強化に関する取組

## 烏・神流川流域における緊急排水作業に係る樋管図上訓練

(令和2年8月26日実施、会場はGメッセ群馬)  
参加機関:高崎市、藤岡市、玉村町2名、群馬県、埼玉県、前橋地方気象台、下久保ダム管理所、関東地方整備局高崎河川国道事務所(計24名)



烏・神流川排水作業準備計画  
にかかる樋管図上訓練